

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月2日 (2017.11.2)

【公表番号】特表2016-531843(P2016-531843A)

【公表日】平成28年10月13日 (2016.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2016-059

【出願番号】特願2016-515394(P2016-515394)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 37/08

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/566

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月19日 (2017.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

CD1aの阻害物質の治療的有効量と薬学的に許容される担体とを含む、炎症性皮膚疾患を治療するための薬学的組成物。

【請求項 2】

前記CD1aの阻害物質がCD1a発現および / またはCD1a活性を阻害する、請求項1に記載の薬学的組成物。

【請求項 3】

前記CD1aの阻害物質が、RNA干渉分子、小分子、ペプチド、および抗体またはその断片からなる群より選択される、請求項1または2に記載の薬学的組成物。

【請求項 4】

前記炎症性皮膚疾患が、T細胞媒介性の皮膚疾患または皮膚障害である、請求項1～3のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 5】

前記炎症性皮膚疾患がウルシオール誘発性接触皮膚炎である、請求項1～3のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 6】

前記炎症性皮膚疾患が乾癬および／またはアトピー性皮膚炎である、請求項1～3のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 7】

CD1a活性の前記阻害物質が、CD1aへのリガンドの結合またはCD1a媒介性抗原提示活性を阻害する、請求項2～6のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 8】

前記リガンドがウルシオールである、請求項7に記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

CD1a活性の前記阻害物質が、ランゲルハンス細胞の抗原提示活性を阻害する、請求項2～8のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

全身送達用に製剤化されている、請求項1～9のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 11】

局所送達用に製剤化されている、請求項1～9のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 12】

a. 1つのランゲルハンス細胞またはランゲルハンス細胞の集団を作用物質と接触させる段階、
b. 該細胞または該細胞の集団におけるCD1aの発現および／または活性を測定する段階であって、
i. CD1aの発現および／または活性の低下により、該作用物質が炎症性皮膚疾患の治療のための候補作用物質であることが示される、段階
を含む、炎症性皮膚疾患を治療するための候補作用物質をスクリーニングするための方法。

【請求項 13】

前記候補作用物質が、RNA干渉分子、小分子、ペプチド、および抗体またはその断片からなる群より選択される、請求項12に記載の方法。

【請求項 14】

a. ランゲルハンス細胞の集団を候補作用物質と接触させる段階、
b. 段階(a)の細胞を標識CD1aリガンドと接触させる段階、
c. 結合した検出可能な該リガンド由来のシグナルの強度を測定する段階、
d. 該シグナルの測定された該強度を参照値と比較する段階、ならびに
測定された該強度が該参照値に比べて低い場合に、
e. 該候補作用物質を該細胞におけるCD1a発現および／またはCD1a活性の阻害物質として同定する段階
を含む、アッセイ法。

【請求項 15】

前記CD1aリガンドがウルシオールである、請求項14に記載の方法。

【請求項 16】

炎症性皮膚疾患の治療または予防における使用のための、CD1aの阻害物質。

【請求項 17】

炎症性皮膚疾患の治療または予防のための医薬の製造のための、CD1aの阻害物質の使用。

【請求項 18】

前記CD1aの阻害物質がCD1a発現および／またはCD1a活性を阻害する、請求項16または17に記載の使用。

【請求項 19】

CD1a発現の前記阻害物質がRNA干渉分子または小分子である、請求項18に記載の使用。

【請求項 20】

CD1a活性の前記阻害物質が小分子、抗体もしくはその断片、またはペプチドである、請求項18に記載の使用。

【請求項 21】

CD1a活性の前記阻害物質が、CD1aへのリガンドの結合またはCD1a媒介性抗原提示活性を阻害する、請求項20に記載の使用。

【請求項 22】

前記リガンドがウルシオールである、請求項21に記載の使用。

【請求項 23】

CD1a活性の前記阻害物質が、ランゲルハンス細胞の抗原提示活性を阻害する、請求項20に記載の使用。

【請求項 24】

前記炎症性皮膚疾患が、T細胞媒介性の皮膚疾患または皮膚障害である、請求項16～23のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 25】

前記炎症性皮膚疾患がウルシオール誘発性接触皮膚炎である、請求項16～23のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 26】

前記炎症性皮膚疾患が乾癬および／またはアトピー性皮膚炎である、請求項16～23のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 27】

前記CD1aの阻害物質が全身送達用および／または局所送達用に製剤化されている、請求項16～26のいずれか一項に記載の使用。